学校番号	101

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共(抽出)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校 公共』　（第一学習社）						
副教材等	『最新　政治・経済資料集』　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●抽出授業は下記の学習方法、目標に準じるが、日本語指導が必要であることを踏まえ、個人に応じて調整する。また各単元を学習する際には、日本で生活する際の基本的な日本社会についての知識を学ぶ機会を設ける。
公共では、日本および国際社会の現状を理解し、諸課題について考察することによって、自らの考えを形成するための授業です。基本的な知識を身につけ、自分の意見を表現するとともに他人の意見を聞くことによって公正な判断力が養われます。したがって、積極的・主体的な授業参加が求められます。

2　学習の到達目標

【①知識及び技能】学習を通じて，現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける。
【②思考力・判断力・表現力等】課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。社会課題に対する見方，考え方はさまざまあり多面的であることを重視し，その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて，合意形成を目指す，公共的存在としての能力を養う。
【③学びに向かう力人間性等】さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的，対話的な授業を通し，生徒が社会参画者であることの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける。 ○現代の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し，有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。	○現代社会の諸課題の解決のために主体的に考え判断し、社会課題に対する見方，考え方はさまざまあり多面的であることを重視し，対話を通じて，合意形成をめざす，公共的存在としての表現ができるか。 ○社会の変化やさまざまな立場，考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。	○現代社会の仕組みや課題について関心を高め、意欲的に追及しているか。 ○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。 ○授業から学び得たものを生かし、積極的に諸問題に取り組む態度を身に着け、かつ自らの学習状況を把握し、自己評価を行い、改善への学習の調整をおこなっているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉	1. 社会に生きる私たち 2. 個人の尊厳と自主・自律 3. 多様性と共通性 4. 人間と社会の在り方についての見方・考え方 5. 実社会の事例から考える～生命倫理	a: 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 b: 公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している c: ・公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 考察ワーク プリントの振り返りや自己評価 提出ノート	考察ワーク 学習状況 プリントの振り返りや自己評価 提出ノート

		1. 公共的な空間を形成するための考え方 2. よりよく生きる行為者として活動するために 3. 人間の尊厳と平等 4. 個人の尊重	a:人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 b: ・孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察，表現している。 c: ・公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 考察ワーク プリントの振り返りや自己評価 提出ノート	考察ワーク 学習状況 プリントの振り返りや自己評価 提出ノート
二学期	公共の扉	1. 民主政治の基本原理 2. 法の支配 3. 自由・権利と責任・義務 4. 世界の主な政治体制 5. 平和主義と安全保障	a: ・法には国家と国民の間を規律する公法や，私人間を規律する私法などがあること，法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけではなく，国民の活動を積極的に促進し，紛争を解決するなど，日常生活に密接に関連していることを理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 考察ワーク プリントの振り返りや自己評価 提出ノート	考察ワーク 学習状況 プリントの振り返りや自己評価 提出ノート

	自立した主体としてよりよい社会に参画する私たち	1. 日本国憲法に生きる基本原理 2. 国会と立法 3. 内閣と行政の民主化	a: 国会の地位と構成・権限，議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について，理解している。選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。 b: ・選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現している。 c: 政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 考察ワーク プリントの振り返りや自己評価 提出ノート	考察ワーク 学習状況 プリントの振り返りや自己評価 提出ノート
三学期		1. 裁判所 2. 法と基本的人権 3. 自由と平等と法･規範 4. 法をよりよく変えていくために	a: ・国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され，法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。基本的人権が保障されるにいたった経緯を，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b: 法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 c: 法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 考察ワーク プリントの振り返りや自己評価 提出ノート	考察ワーク 学習状況 プリントの振り返りや自己評価 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度